

大間原子力発電所の無期限凍結を求める

要 請 書

昨年3月11日の東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所において世界を震撼させる未曾有の大事故が発生し、これまでの原子力発電所の安全神話は完全に崩壊し、多くの国民に不安を与えるとともに、これまでの原発政策に大きな不信を抱かせたところです。

いまなお、福島県では、福島第一原子力発電所の事故処理が終息しておらず、16万人の方々が避難を余儀なくされている中、政府は、9月14日に発表した革新的エネルギー・環境戦略において、「2030年代に原発ゼロを目指す」、「新設・増設は行わない」との考え方を示したところであり、私たち道南地域の住民も、大間原子力発電所の建設再開は無いものと期待を抱いたところです。

しかるに、9月15日に経済産業大臣が、青森県知事などに対し、「既に設置許可を与えている原発について、これを変更することは考えていない。」と述べ、9月18日には内閣官房長官も同様の発言をされ、大間原子力発電所の建設継続を容認する意向を示されたことは、先に示した方針と全く矛盾するものであり、私たちの期待を大きく裏切るものです。

大間原子力発電所から50km圏内の人口では、青森県側約9万人に対し、北海道側は約37万人であり、仮に、福島第一原子力発電所と同様の事故が起これば、遮蔽物もなく、最短で23キロメートルに位置する道南地域が危険にさらされ、北海道側への影響が圧倒的に大きいことは明白であり、観光産業をはじめ、津軽海峡を操業の場としている漁業や食糧基地の一翼を担っている農業を基幹産業としている道南地域にとっては、地域経済にも壊滅的な打撃を与えるものです。

3年後に北海道新幹線の開業を控え、将来に期待を持って、まさしく、これから地域の発展のために様々な取り組みを進めて行こうとしている矢先に、国や事業者からの私たちへの説明もなく、また、私たちの意向を一切斟酌することもなく、大間原子力発電所の建設継続を容認する考えを表明したことは、極めて遺憾であります。

これまで、現在ある原子力発電所で電力需要を十分賄ってきたことを踏まえると、あえて大間原子力発電所の建設を続行することは必要がないものであり、また、工事の進捗率が37.6%であることを考えると、まさに原子力発電所の新設となるもので、他の既存の原子力発電所と同じ扱いをすることは全く理解し難いものです。

したがって、我が国のエネルギー政策における大間原子力発電所の位置付け、必要性の説明や、福島第一原子力発電所の事故の究明が未だになされていない中で、建設を再開するということは、断じて受け入れられるものではありません。

よって、私たちは、大間原子力発電所にかかわる一連の政府発言に抗議するとともに、道南地域における住民の生命の安全・安心と財産の保全、さらには地域の振興発展のため、大間原子力発電所の建設の無期限凍結を断固求めるものです。

平成24年10月15日

函 館 市 長	工 藤 壽 樹
北 斗 市 長	高 谷 寿 峰
七 飯 町 長	中 宮 安 一
松 前 町 長	石 山 英 雄
福 島 町 長	佐 藤 卓 也
知 内 町 長	大 野 幸 孝
木 古 内 町 長	大 森 伊 佐 緒
鹿 部 町 長	川 村 茂
森 町 長	佐 藤 克 男
八 雲 町 長	川 代 義 夫
長 万 部 町 長	白 井 捷 一

函館市議会議長 能登谷 公

北斗市議会議長 池田 達雄

七飯町議会議長 横田 有一

松前町議会議長 斉藤 勝

福島町議会議長 溝部 幸基

知内町議会議長 伊藤 政博

木古内町議会議長 岩館 俊幸

鹿部町議会議長 野田 重毅

森町議会議長 野村 洋

長万部町議会議長 木幡 正志

函館商工会議所 会 頭 松 本 榮 一

函館市亀田商工会 会 長 村 山 吉 治

函館東商工会 会 長 遠 山 俊 一

北斗市商工会 会 長 宮 崎 高 志

七飯町商工会 会 長 川 又 修 治

松前商工会 会 長 熊 谷 喜 久 夫

福島町商工会 会 長 小笠原 幸 助

木古内商工会 会 長 北 島 孝 雄

渡島管内漁業協同組合長会	会	長	山崎	博康
松前さくら漁業協同組合	代表理事組合長		佐藤	正美
福島吉岡漁業協同組合	代表理事組合長		阿部	国雄
上磯郡漁業協同組合	代表理事組合長		山崎	博康
函館市漁業協同組合	代表理事組合長		橘	忠克
銭亀沢漁業協同組合	代表理事組合長		柴田	一
戸井漁業協同組合	代表理事組合長		森	祐
えさん漁業協同組合	代表理事組合長		高島	武俊
南かやべ漁業協同組合	代表理事組合長		鎌田	光夫
鹿部漁業協同組合	代表理事組合長		村田	昇
砂原漁業協同組合	代表理事組合長		坂本	藤吉
森漁業協同組合	代表理事組合長		松居	俊治
落部漁業協同組合	代表理事組合長		碓	貞一
八雲町漁業協同組合	代表理事組合長		大林	弘志
長万部漁業協同組合	代表理事組合長		高野	勇一

道南地区農業協同組合長会	会	長	山 岸	栄 一
新函館農業協同組合	代表理事組合長		畠 山	良 一
北檜山町農業協同組合	代表理事組合長		大 関	秀 人
今金町農業協同組合	代表理事組合長		小田島	親 守
函館市亀田農業協同組合	代表理事組合長		山 岸	栄 一

社 団 法 人

函館国際観光コンベンション協会	会 長	渡 邊	兼 一
-----------------	-----	-----	-----

北 斗 市 観 光 協 会	会 長	佐々木	博 史
---------------	-----	-----	-----

一般社団法人

七飯大沼国際観光コンベンション協会	会 長	渡 邊	邦 浩
-------------------	-----	-----	-----

松 前 観 光 協 会	会 長	疋 田	清 美
-------------	-----	-----	-----

福 島 町 観 光 協 会	会 長	河原塚	利 雄
---------------	-----	-----	-----

木 古 内 町 観 光 協 会	会 長	東 出	文 雄
-----------------	-----	-----	-----

函館市町会連合会 会長 木村 一雄

北斗市町会連合会 会長 磯部 正博

七飯町町会連合会 会長 寺沢 久光

松前町町内会連合会 会長 疋田 清美

福島町町内会連合会 会長 塚本 謙也

木古内町町内会連合協議会 会長 工藤 嗣美